

<p>2010年 秋号</p> <p> NEW KOMEI TO 公明党</p>	<h1>松下賢一郎</h1> <h2>議会レポート</h2>	<p>発行責任者 藤沢市議会議員 松下賢一郎 0466-34-4570 matusita@tbb.t-com.ne.jp</p>
---	--------------------------------	--

藤沢市議会9月定例会で連続35回目の一般質問を行う

藤沢市議会9月定例会が9月1日から開催され、今回で35回連続(12年目)となる一般質問(個人質問)を行いました。今回の質問では、毎年9月議会で取り上げてきている市立小中学校における「暴力行為・いじめ・不登校」の現状と対策について確認をしました。

『暴力行為について』 藤沢市の平成21年度の暴力行為の件数と内訳については、対教師暴力が24件、生徒間暴力が49件、対人暴力が12件、器物破損が98件の計183件となり、平成20年度より29件の増加となっています。その内訳としては、対教師暴力が11件、対人暴力が11件、器物破損が20件の増加となり、生徒間暴力は13件の減少となりました。原因については、問題行動を起こした児童生徒に対して教師が注意したときに自分の感情が抑えられずにカッとして暴力を振るうことが多く、家族関係の中でのストレスや葛藤が大きく影響していることも調査結果から読み取れます。今後の対応としては、支援を必要とする児童生徒への適切な対応をはじめ、福祉部門等の関係機関との連携、教育相談体制の充実等を図るよう求めました。

『いじめについて』 平成21年度のいじめを認知した学校数と件数は、小学校では35校中9校において合計15件、中学校では19校中15校において合計105件のいじめが認知されました。

今後の対策としては、「いじめ防止プログラム」の普及により、生徒同士で支え合う「スクールバディ活動」の展開を図り、いじめを未然に防ぐための様々な企画を自ら考え情報発信を行いながら、学校からいじめの傍観者をなくすための活動に期待がされています。



現在は、昨年度から実施されている村岡中、湘洋中、御所見中、片瀬中に加え、今年度から湘南台中、大庭中、高浜中、鶴沼小を加えた7中学校1小学校の合計8校で実施されていますが、今後は小学校での効果も検証しながら、いじめ防止プログラムの実施校を段階的に増やす方針が示されました。

『不登校について』 平成21年度の不登校児童生徒数および出現率は、小学校では、平成20年度より15人増の65人で出現率は0.28%(前年は0.22%)、中学校では38人減の331人で出現率は3.27%(前年は3.70%)となっています。不登校児童生徒の在籍学校数は小学校が35校中23校、中学校は19校すべてとなっています。

家庭環境の複雑化や学校だけでは対応困難な事例が増えていることから、福祉的な支援が必要な家庭に対して「スクール・ソーシャルワーカー(2名)」が今年から派遣されていますが、今後は派遣の時間数や人を増やしていく必要があり、地域や学校に密着した活動が可能になるよう「スクール・ソーシャルワーカー」の増員を図るよう求めました。

藤沢市(過去7年間)		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
暴力行為		59件	80件	71件	98件	185件	154件	183件
いじめ	小学校	2件	0件	2件	39件	37件	33件	15件
	中学校	61件	45件	40件	201件	96件	103件	105件
不登校	小学校	71人	78人	81人	59人	70人	50人	65人
	中学校	357人	317人	293人	323人	349人	369人	331人
	小中合計	428人	395人	374人	382人	419人	419人	396人

「中学校給食」実施の是非も含め検討へ！

健全な身体を育む上で鍵となる『食育』という観点から、現在、藤沢市では実施されていない「中学校給食」への取り組みについて市の見解を求め、「実施の是非も含め検討する」方針が示されました。

全国的には公立中学校の80.9%で中学校給食が実施されている中で、神奈川県は16.2%と、大阪府の7.7%に次いで2番目に低いものの、県内では現在、7市8町1村で中学校給食が実施されています。

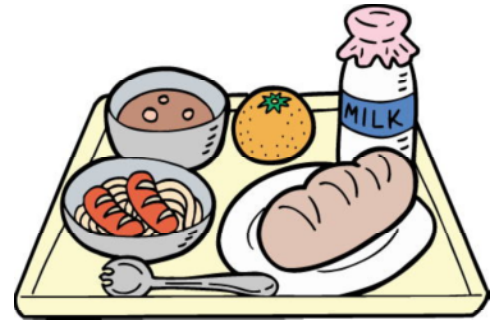
これは、平成19年4月の厚木市を皮切として、県央地区での中学校給食導入の動きが活発になり、愛川町が平成21年10月から導入。相模原市も11月1日から、市内の一部の市立中学校15校で完全給食が実施されることになり、伊勢原市も平成23年度以降の導入を目指して現在検討しており、これまで実施率の低かった県内でも徐々に中学校給食導入の動きが広がってきています。

また、2006年度に藤沢市PTA連絡協議会が実施した「食育についてのアンケート調査」における「給食・お弁当」の意識調査では、「小学校の給食は圧倒的な支持を得て喜ばれており、中学校でも給食を導入してほしいと考えている保護者が多い」として、中学校でも「完全給食」を導入してほしいと回答した保護者の割合は50.4%にのぼるなど、まさに「食育」という観点からも早急に検討すべき課題として市の見解を求めました。

教育委員会としては、「中学校給食の実施は、小学校給食調理場の単独校化終了後(平成24年以降)の将来的な検討課題と考えているが、県内並びに、全国の中学校給食の先進市の実施方式の長所・短所また費用対効果などの研究を進めていく」とした上で「給食をとおした食教育の観点からの重要性、有効性は教育委員会として十分に認識しており、今後は、実施の是非も含めて検討する」との方針が示されました。

中学生という時期は、成長に必要な栄養素の必要量が生涯の中で最も大きくなっていく時期であり、栄養バランスに配慮した食事を摂ることが重要な時期でもあります。

また、中学生の朝食摂取率が低いことや、栄養バランスのとれた昼食を選択していないことなど、食生活・食習慣の乱れが指摘されるなか、中学校給食の実施は決して将来的な課題ではないことから、早急に検討するよう強く求めました。



『第1回 全国中学生ビーチバレー大会』を開催！



御存じのように、野球には“甲子園”、ラグビーには“花園”というように、長年にわたり同じ場所で開催し定着することで、その地域は全国的に周知され、また、大会等を通じ多くの人が集まることで、その地域を全国に大きくアピールする機会にもなります。

そこで、藤沢市においても全国にアピールできる小

中学生の大会が開催できないかと一般質問などを通じて提言をしてきましたが、鵜沼海岸がビーチバレー発祥の地でもあり、毎年夏にビーチバレージャパンが開催されることから、この夏初めて「湘南カップ 全国中学生ビーチバレー大会」が開催されました。

大会は8月14・15日の二日間にわたり開催され、男子の部では藤沢市の善行中学校(チームひたむき)が優勝、女子の部は、葉山町の南郷中学校が優勝カップを手に入れました。

今年が初めての全国大会という事もあって、関東近県からの参加が中心となりましたが、年々開催を重ねることで、九州や北海道など、まさに全国から目標とされる大会になるよう、来年からの開催に向け課題を整理し、更なる充実を図るよう求めています。

今年が初めての全国大会という事もあって、関東近県からの参加が中心となりましたが、年々開催を重ねることで、九州や北海道など、まさに全国から目標とされる大会になるよう、来年からの開催に向け課題を整理し、更なる充実を図るよう求めています。

松下賢一郎プロフィール <http://www.k-matusita.com>

- ・1958年生まれ52才 ・鎌倉学園高校卒 ・神奈川大学卒
- ・神奈川トヨタ自動車(株)に17年間勤務
- ・平成11年 藤沢市議会議員初当選(現3期)
- ・藤沢市監査委員(現在) ・公明党藤沢総支部長

【QRコード】

松下 賢一郎の情報は
モバイル(携帯)サイト
からもご覧頂けます

